

あすなる

北部地区農村環境改善センター

発行 青森市北部地区
農村環境改善センター
〒038-0054 青森市奥内字宮田 41-3
TEL 017-754-2244
FAX 017-739-6248



講座レポート

地域探訪「薬草・ハーブ園観察&寄せ植え体験」 (7/13)

地域探訪「薬草・ハーブ園観察&寄せ植え体験」が青森市農業振興センターで開催されました。朝から雨が降りしきる中、16名の参加者は農業振興センターについての説明を受けた後に、風雨の中を傘をさしながら、ハーブ園、薬草園の順に観察して回りました。参加者から「ラベンダーの剪定方法を知りたい」「この薬草の効能は何ですか」等の質問が出るたびに、講師の方々は分かり易い言葉で懇切丁寧に教えてくれました。1時間ほどの観察の後に作業室に戻り、ハーブ寄せ植え体験をしました。



ハーブの剪定方法を指導

ハーブの寄せ植えは、次のようにして行いました。

- ①ハーブ苗の高さに合わせて土を敷く
- ②ポットから土が崩れないように苗を抜き、向きを合わせて置く
- ③苗のすき間を埋めるように土を足す
- ④寄せ植え完了



約100種類のハーブを植栽



約180種類の薬草を植栽

参加者からは「ハーブの多さにびっくり。楽しかった」「寄せ植えに力を入れているので、種類と保管方法について勉強できて良かった」「質問したことに親切に答えてくれて良かった」「見応えがありとても良かった」等の感想を聞くことができました。

講座レポート

シニア向け「スマホ基本操作」 (8/2)



シニア向けスマホ教室(2回シリーズの第1回目)が、5名の参加者を得て開催されました。講師はドコモショップ青森新町店の木村大助さんです。アシスタントとして3名の若いスタッフも支援に参加しました。

最初にスマホの基本操作に必要な事柄を教えてくださいました。①スマホは「android」と「iPhone」の2種類 ②基本ボタン(ホーム・戻る・タスク)を覚える ③操作のコツは「指の腹」でタッチ ④文字入力「フリック入力」を覚えよう等でした。



アルファベット入力はこのボタン

次にメールアプリを使用して「フリック入力」の練習に取り組みました。特にアルファベットや数字、絵文字等の入力方法を丁寧に教えてくださいました。休憩の後には、音声入力でインターネット検索を行いました。音声入力のポイントは、①調べたい語句を頭に浮かべる ②マイクアイコンをタップしたらワンテンポおく ③単語は短くです。



「フリック入力」を練習する参加者

参加者は、「青森の明日の天気は」「東京の明後日の天気は」「近くのラーメン屋は」「パンダの画像を見せて」「16500円を3人で割り勘」等の質問を次々に繰り返し、それに答えるスマホの優秀さに感動していました。第2回目は、「カメラの使い方」「マップの使い方」を学習する予定になっています。

お盆も終わり、秋風が肌に心地よい感触を与える中、「お盆」と「彼岸」について今一度振り返って見ようという趣旨で、この講座が開催されました。講師は蓬田村の龍沢山正法院（曹洞宗）住職 高木融道さんです。当初、正法院は奥内村に境内を構えていましたが、寛文2年に檀家の多い蓬田村に移ったそうです。正法寺宝の観音菩薩像は江戸時代初期に円空によって彫刻されたものだそうです。

講話では、「お盆」と「彼岸」の由来や歴史、期間、目的等に分けて大変分かり易くお話ししてくれました。

お盆はご先祖様の霊を迎え入れる行事		お彼岸は春分の日、秋分の日を中日とした7日間に行われる行事	
由 来	夏に行われる祖先の霊を祀る一連の行事	由 来	ご先祖様のいる世界を彼岸（ひがん）、私たちが生きている世界を此岸（しがん）といい、春分の日と秋分の日には、この彼岸と此岸がもっとも通じやすくなると考えられている
期 間	13日の夕方に迎え火を焚いて故人の霊を迎え、16日の夕方に送り火を焚き、故人の霊を見送る	期 間	春分の日と秋分の日前後 3日間を合わせたそれぞれ7日間
目 的	祖先の魂を迎えることを目的	目 的	彼岸と此岸がもっとも通じやすくなる日に、ご先祖様を供養することを目的
お供えする花	定番は菊ですが、リンドウ、キンセンカ、カーネーション、ケイトウなど	お供えする花	菊のほか、カーネーションやヒャクニチソウ、ストック、キンギョソウなど



参加者の質問に答える高木住職

講座の後半では、蓬田村の地域資源のお話がありました。

①正法院の近くに実家がある漫画家武井宏之（『仏ゾーン』や『シャーマンキング』の作者）が活躍していること。

②蓬田駅の近くの「観音堂」にある絵と俳句は、江戸時代のものでキリシタンのものであること。

身近に存在する歴史の奥深さに心躍らせる講座でありました。

業務員のコーナー

これまでに、こんな講座が開催されました！

担当 吉田



夏休み木工教室「県産木材を使って2WAYスツールづくり」

講師は、東青地域県民局地域農林水産部林業振興課木戸さん他スタッフの皆さんです。材料は全て無料で提供いただき、今回はスギを使用しました。参加者からは「夏休みの宿題ができて良かった」「楽しく親子のコミュニケーションもとりながら望めた」「ビスが上手にできなかった」といった声が聞かれた。苦戦しながら頑張っている親子をみて、久々にほっこりしました。（親子15組）

編集後記

市民センターご利用の際には、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒をお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。当館においても、館内の消毒を行うなど感染対策を徹底し、安全・安心の確保に配慮しながら皆様の学習活動の推進に今後も取り組んでまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164 (内線 36)

北部市民センター担当：須藤、横内